**史跡　大森勝山遺跡**

青森県弘前市にある大森勝山遺跡では、1000を超える石が77か所にわたって並べられ、環状列石を作っています。この環状列石は紀元前1000年頃のもので、岩木山のふもとの高台に位置しています。岩木山と周辺地域は津軽国定公園の一部です。この遺跡からは、美しい眺めを楽しむことができます。

行き方

この遺跡には、森の中の歩道（階段あり）でも、なだらかなバリアフリーの道でも行くことができます。森の中の歩道は、クリの木やその他の果樹の中を抜けていきます。こういった木々が、この地域に定住した先史時代の人々に食料を提供したのでしょう。2つの道とも、岩木山を望める開けたところに出ます。

この開けた土地は人工的に作られた盛土の上にあり、その中心に環状列石があります。環状列石の中心からは、岩木山をはっきり見ることができます。

岩木山と環状列石の位置

岩木山は、富士山に似た形の成層火山です。両斜面はなだらかで、左右対称です。岩木山は地元で信仰されており、その頂上には神社があります。冬至には、環状列石のちょうど向こうの岩木山の頂上に日が沈みます。これは、この地域に暮らしていた前史時代の人々にとって岩木山が特に重要だったということを意味しています。

信仰の場としての環状列石

祭祀が行われていた他の遺跡で見出されたものと一致する考古学的発見が示しているのは、この環状列石が信仰の場だった、ということです。この遺跡の随所で、石の棒、円盤状の石、土偶が発掘されてきました。

竪穴建物の証拠

この開けた土地の端では、円形の竪穴建物（直径13m）があった証拠が発見されています。この竪穴建物の大きさと、この遺跡で発見された竪穴建物は１つだけであることから、考古学者たちは、この建物は祭祀が行われる集落の中心として機能していたのだろうと考えています。

埋蔵物と関連遺跡

大森勝山遺跡周辺で発見された出土品は、この遺跡から車で10分の裾野地区体育文化交流センター [リンク] のロビーに展示されています。出土品の一部は、この地域の他の遺跡からの出土品とともに、弘前市立博物館 [リンク] にも展示されています。北日本で、祭祀が行われていた他の遺跡には、小牧野遺跡 [リンク]（青森）、伊勢堂岱遺跡 [リンク]（秋田）、大湯環状列石 [リンク]（秋田）などがあります。